

取扱説明書

K 770、K 770 Rescue、 K 770 OilGuard

本機をご使用になる前に、この取扱説明書を注意深くお読みいただき、
内容を必ずご確認ください。



Japanese

マークの説明

取扱説明書のバージョンについて

本マニュアルは北米以外のすべての英語圏で使用される国際バージョンです。北米で作業する場合は、米国バージョンを使用してください。

本機に表記されるシンボルマーク

警告!本機は危険を伴う道具です。不注意な使用や不適切な使用によって、使用者やその他の人々が重傷や致命傷を負う危険性があります。本機をご使用になる前に、この取扱説明書を注意深くお読みいただき、内容を必ずご確認ください。

プロテクティブ装具を着用してください。「プロテクティブ装具」の項の説明を参照してください。

この製品は EC 規格適合製品です。

警告!切断の際には粉塵が発生し、人体に吸い込まれると危険です。適切な呼吸マスクをご使用ください。排気ガスを吸引しないようにしてください。常時、換気を十分に行ってください。

警告!キックバックは突然かつ急に、勢いよく発生し、命にかかわる傷害を発生させることがあります。本機を使用する前に、本書の説明をよく読み、理解してください。

警告!カッティングブレードから発生する火花から可燃物(ガソリン、木、枯草など)に引火する可能性があります。

ブレードにいかなるヒビや破損もないことを確認してください。

円形鋸ブレードは使用しないでください。

チョーク

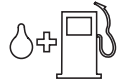
エアパージ

デコンプレッサーバルブ

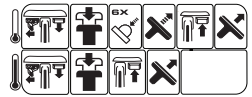
スターターハンドル



給油、ガソリン/オイル混合

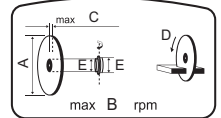


始動方法説明ラベル 詳細は、「始動と停止」を参照してください。



カッティング装置ラベル

A = カッティングブレード径
B = 出力シャフト最高回転速度
C = ブレードの最大厚さ
D = ブレードの回転方向
E = プッシング寸法

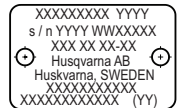


環境に対する騒音レベルは EC 指令に準拠しています。本機の騒音レベルは、主要諸元の章とステッカーに記載されています。



銘板

行 1: ブランド、モデル (X、Y)
行 2: シリアル番号と製造日
(Y、W、X) 年、週、シーケンス番号
行 3: 製品番号 (X)
行 4: メーカー
行 5: メーカー住所



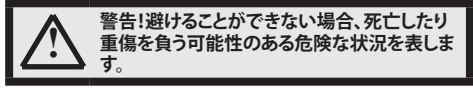
行 6~7: EC 型式認証 (X、Y) (該当する場合): 認証コード、認証段階または中国の MEIN 番号

本機に付いている他のシンボル/銘板はそれぞれの市場地域に向けた特別な認定条件を示します。

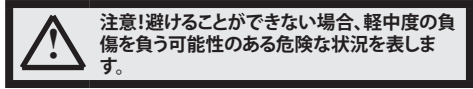
警告レベルの説明

警告は 3 つのレベルで構成されます。

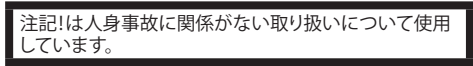
警告!



注意!



注記!



目次

目次

マークの説明

取扱説明書のバージョンについて	2
本機に表記されるシンボルマーク	2
警告レベルの説明	3

目次

目次	4
----------	---

概要

お客様へ	5
設計および機能	5
パワーカッターの各部名称 - K 770、 K 770 OilGuard	7
パワーカッターの各部名称 - K 770 Rescue	8

本機の安全装置

全般	9
----------	---

カッティングブレード

全般	11
研磨ブレード	12
ダイヤモンドブレード	12
歯付きブレード、カーバイドチップブレードおよ び緊急事態	13
搬送と保管	13

組立と調整

全般	14
スピンドルシャフトとフランジワッシャーの点検	14
アーバプッシングの点検	14
ブレード回転方向の検査	14
カッティングブレードの取付	14
ブレードガード	14
OilGuard の解除 (K 770 OilGuard)	15
リバーシブルカッティングヘッド	15
ホイールキット (アクセサリ)	16
カッティングトロリー (アクセサリ)	16

燃料の取り扱い

全般	17
燃料	17
給油	18
搬送と保管	18
OilGuard (K 770 OilGuard)	18

操作

プロテクティブ装具	19
一般的な安全注意事項	19
搬送と保管	24

始動と停止

始動前に	25
始動	25
停止	26

メンテナンス

全般	27
メンテナンススケジュール	27
清掃	28
機能検査	28
廃棄	31
トラブルシューティング	
トラブルシューティング	32
主要諸元	
主要諸元	33
推奨する研磨およびダイヤモンドカッティング ブレードの仕様	33
EC 適合性宣言	34

お客様へ

ハスクバーナの製品をご購入いただき誠にありがとうございます。

本製品にご満足いただき、末永くご愛顧いただけることを願っております。弊社製品のご購入後は、弊社技術員による修理ならびに整備をご利用いただけます。お買い上げになった販売店が正規代理店でない場合は、その販売店に最寄りのサービス工場の所在地をお問い合わせください。

本取扱説明書は大切な書類です。常に作業場所ですぐに利用できるようにしてください。説明書の記載内容（操作方法、修理、メンテナンスなど）に従うことにより、本機の寿命を延ばし、転売時の価値を高く維持することができます。本機を転売する場合は、必ず取扱説明書を同梱してください。

300 年以上も続けられているイノベーション

ハスクバーナの歴史は、スウェーデン王であるカール 11 世がマスケット銃の製造を目的とした工場の建設を命じた 1689 年に遡ります。その時代、ハスクバーナは、猟銃、自転車、オートバイ、家庭電気製品、ミシン、アウトドア製品などの分野で世界をリードするプロダクトを開発。それらの開発を支える技術的スキルを背景に、企業の礎がすでに築かれていました。

ハスクバーナは、森林や公園のメンテナンス、芝生や庭の管理向けアウトドア用パワープロダクト、さらには、建設および石材産業向け切削装置やダイヤモンド工具などのグローバルリーダーです。

オーナーの責任

本機を安全に使用するための十分な知識を使用者に持たせることは、オーナーあるいは雇用者の責任です。監督者や使用者は、あらかじめ取扱説明書を読み、内容を理解する必要があります。作業者は以下の点を確認する必要があります。

- 本機の安全に関する説明事項。
- 本機の用途や使用限度の範囲について。
- 本機の使用方法和メンテナンス方法について。

本機の使用においては、国内法による規制が課せられる場合があります。本機を使用して作業を開始する前に、作業エリアに適用される法律についてご確認ください。

メーカーからお客様へ

この取扱説明書の発行後、ハスクバーナ社は製品の安全な操作のための追加情報を発表する場合があります。最も安全な操作方法の最新情報を確認することは、オーナーの義務です。

ハスクバーナ社は継続的に製品の開発を行っています。そのため、設計や外見などが予告なく変更されることがあります。

ご質問やご要望については、弊社のウェブサイト (www.husqvarnacp.com) からお問い合わせください。

設計および機能

ハスクバーナ パワーカッターは、コンクリート、石材、鋼鉄などの硬い材料を切断するために設計された持ち運び可能な手持ち式の切断工具です。この取扱説明書に記載されていない目的には使用しないでください。この製品を安全に操作するため、作業者はこの取扱説明書を注意深く読む必要があります。詳細については、ハスクバーナの販売店にお問い合わせください。

お使いの製品には、以下の特長があります。

Active Air Filtration™

遠心分離式空気浄化機能により、長期間のサービス寿命とサービスインターバルを実現。

OilGuard (K 770 OilGuard)

オイルが給油されているかどうか、またはオイルの種類が間違っていないかを検出するための光学式検知システムです。

SmartCarb™

内蔵自動フィルター補正機能により、ハイパワーを維持し、燃料消費を削減。

Dura Starter™

内部のリターンスプリングとブーリーベアリングが密閉された防塵スターターユニットは、実質的にメンテナンス不要で、高い信頼性があります。

X-Torq®

X-Torq® エンジンは、広範囲のスピードに対して最適なトルクを提供し、最大限の切断能力を実現します。X-Torq® は、燃料消費を最大 20 %、排出ガスを最大 60 %削減します。

EasyStart

エンジンとスターターは、迅速かつ簡単に製品を始動させられるように設計されています。スターターロープの引っ張り抵抗が 40% 減少しています。(始動時の圧縮を減少)

エアパージ

エアパージダイヤフラムを押すと、燃料はキャブレターへ送られます。エンジンは、スターターを数回引くことで簡単に始動できます。

水冷／粉塵管理

スラリーが少なく、水消費を低減。

水冷式切削キットによる優れた粉塵管理。革新的なウォーターバルブにより水量が適切に調節され、粉塵を効果的に固めてスラリーを低減します。

効率的な防振装置

効率的な防振装置により、腕や手に伝わる振動が軽減されます。

リバーシブルカッティングヘッド

本機は、リバーシブルカッティングヘッドが取り付けられており、壁や地面へ近接して切断できます。このときの距離はブレードガードの厚みによってのみ制限されます。

スマートテンション

ばね荷重機構のセミオートマチックベルトテンションシステムにより、適正なベルトの張りを得るのが簡単です。また、ドライブベルトの交換やカッティングヘッドの反転も非常に簡単です。

特別設計のスターターハンドル (K 770 Rescue)

厚手の手袋をしていても操作できる、特別設計のスターターハンドルです。

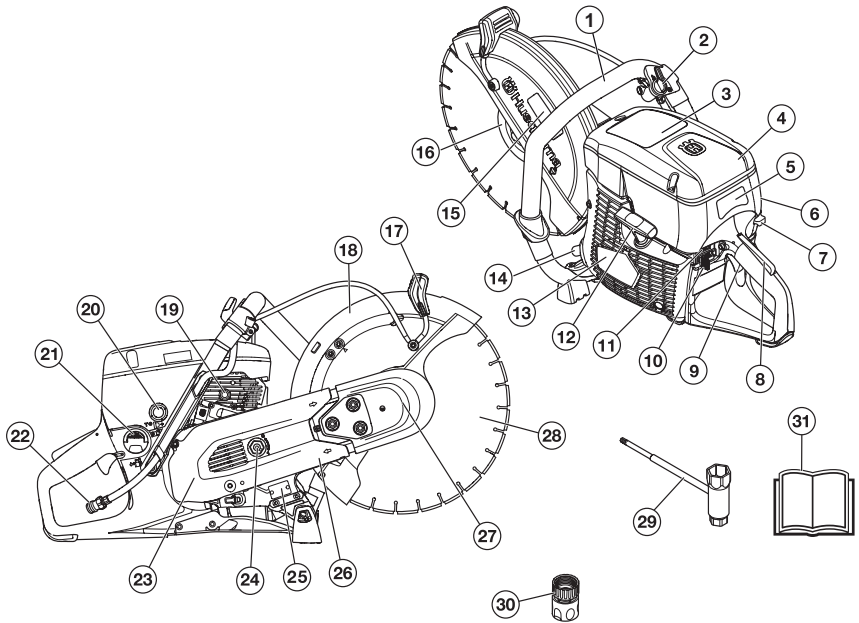
調整可能なキャリーストラップ (K 770 Rescue)

調整可能なキャリーストラップにより、作業者は自由に動くことができます。

反射ブレードガード (K 770 Rescue)

反射ブレードガードは、煙や水しぶきの中でも見やすく、カッターの操作性を向上させます。

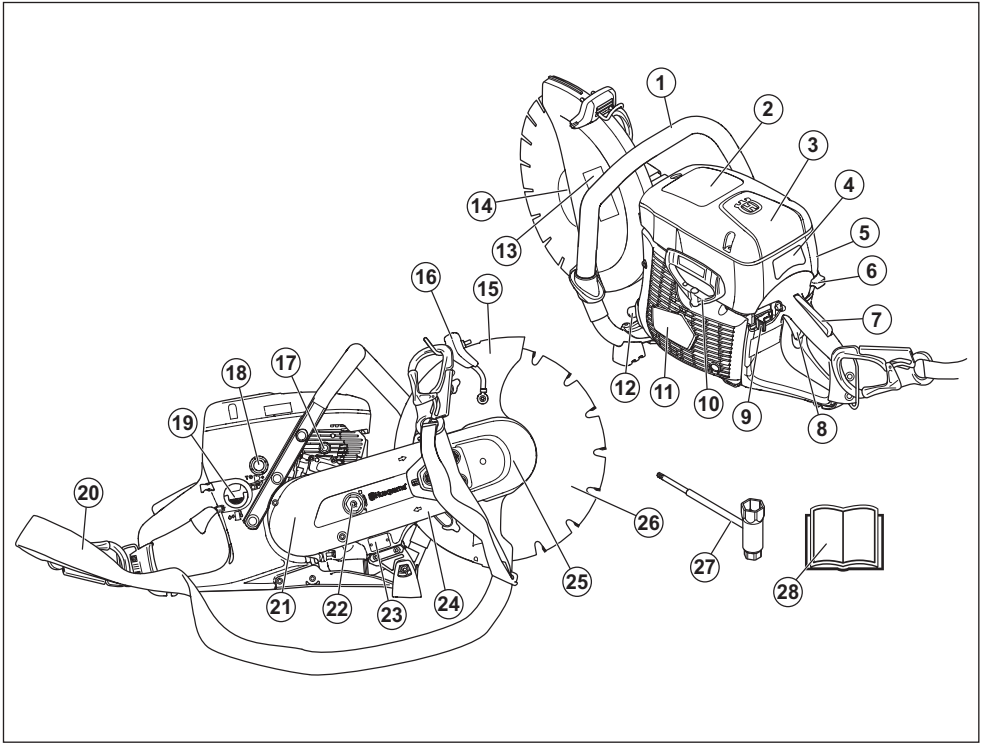
概要



パワーカッターの各部名称 - K 770, K 770 OilGuard

- | | |
|------------------------------------|----------------------|
| 1 フロントハンドル | 17 ガード用調整ハンドル |
| 2 水バルブ | 18 ブレードガード |
| 3 警告シール | 19 デコンプバルブ |
| 4 エアフィルターカバー | 20 エアバージ |
| 5 始動方法説明ラベル | 21 燃料キャップ |
| 6 シリンダーカバー | 22 フィルター付き給水接続部 |
| 7 スタートスロットルロック付きチョークコントロール | 23 ベルト保護カバー |
| 8 スロットルトリガーロック | 24 ベルトテンションねじ |
| 9 スロットルトリガー | 25 銘板 |
| 10 停止スイッチ | 26 カuttingアーム |
| 11 OilGuard 用分離機能 (K 770 OilGuard) | 27 カuttingヘッド |
| 12 スターターハンドル | 28 カuttingブレード (別売り) |
| 13 スターターハウジング | 29 コンビレンチ |
| 14 マフラー | 30 水コネクター、GARDENA® |
| 15 カutting装置ラベル | 31 取扱説明書 |
| 16 フランジ、スピンドル、軸受け (「取り付けと調整」参照) | |

概要



パワーカッターの各部名称 - K 770 Rescue

- | | |
|--------------------------------|---------------------|
| 1 フロントハンドル | 15 ブレードガード |
| 2 警告シール | 16 ガード用調整ハンドル |
| 3 エアフィルターカバー | 17 デコンプバルブ |
| 4 始動方法説明ラベル | 18 エアパージ |
| 5 シリンダーカバー | 19 燃料キャップ |
| 6 スタートスロットルロック付きチョークコントロール | 20 調整可能キャリーストラップ |
| 7 スロットルトリガーロック | 21 ベルト保護カバー |
| 8 スロットルトリガー | 22 ベルトテンションねじ |
| 9 停止スイッチ | 23 銘板 |
| 10 スターターハンドル | 24 カuttingアーム |
| 11 スターターハウジング | 25 カuttingヘッド |
| 12 マフラー | 26 カuttingブレード(別売り) |
| 13 カutting装置ラベル | 27 コンビレンチ |
| 14 フランジ、スピンドル、軸受け(「取り付けと調整」参照) | 28 取扱説明書 |

本機の安全装置

全般



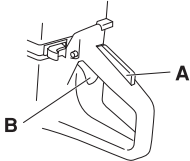
警告!安全装置に欠陥のある製品は決して使用しないでください。お持ちの機械が点検項目を一点でも満たさない場合は、お近くのサービスショップに修理を依頼してください。

停止スイッチを STOP 位置にして、エンジンを切ってください。

この項では、本機の安全装置とその目的、本機の正しい動作を確保するための検査とメンテナンスの方法について説明します。

スロットルトリガーロック

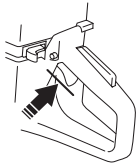
スロットルトリガーロックはスロットルの操作ミスを防ぐためのものです。ロック (A) を押すと、スロットル (B) が解除されます。



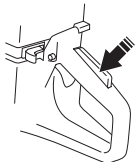
スロットルが押されている間は、トリガーロックは押されたままの状態を保ちます。ハンドルのグリップを放すと、スロットルトリガーとスロットルトリガーロックの両方が元の位置に戻ります。この動作は、2つの独立したリターンスプリングシステムが制御しています。この構造はつまり、スロットルトリガーが自動的にアイドリング状態でロックされることを意味します。

スロットルロックの検査

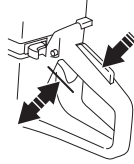
- スロットルトリガーロックを放したとき、スロットルトリガーがアイドリングの位置にロックされていることを確認します。



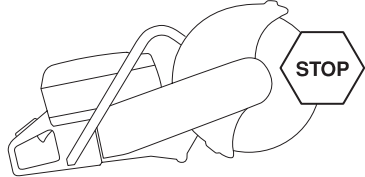
- スロットルロックを押し、指を放すと元の位置に戻ることを確認します。



- スロットルトリガーとスロットルロックがスムーズに動き、リターンスプリングが正しく機能していることを点検します。

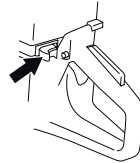


- パワーカッターを始動し、フルスロットルにします。スロットルコントロールを放せばカッティングブレードの走行が停止し、静止状態が保たれることを確認します。スロットルがアイドリングの位置にあるにもかかわらずカッティングブレードが走行する場合は、キャブレターのアイドリング調整をチェックしてください。詳細は、「メンテナンス」を参照してください。



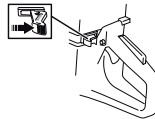
停止スイッチ

停止スイッチはエンジンを切るときに使用します。



停止スイッチの検査

- エンジンを始動し、停止スイッチを停止設定にしたときにエンジンが停止することを確認します。



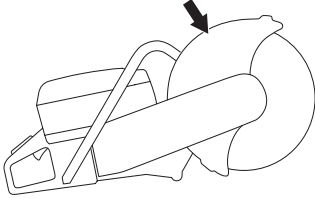
本機の安全装置

ブレードガード



警告!本機を始動する前に、ガードが正しく装着されていることを必ず確認してください。

カッティングブレードの上にガードが取り付けられています。ガードはブレードや切断小片が作業者に向けて飛ぶのを防ぐためのものです。



ブレードガードの状態を検査します。

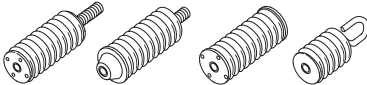
- カッティングブレード上のガードを検査し、ひび割れや損傷がないかを確認します。損傷があるときは交換します。
- カッティングブレードが正しく取り付けられており、損傷がないことを確認します。損傷のあるブレードは、人的な傷害を招きます。

防振装置



警告!循環器系の弱い人が長時間振動を受け続けると、循環器障害や神経障害を起こすことがあります。長時間振動を受け続けたために症状が現れた場合は、医師の診断を受けてください。症状にはしびれ、感覚麻痺、ヒリヒリ感、刺痛、痛み、脱力感、皮膚の色や状態の変化などがあります。これらの症状は通常、指や手、手首に現れます。この症状は低温の環境下でよく起こります。

- 本機には防振装置がついており、振動を軽減し、操作しやすいようになっています。
- 本機の防振装置は、エンジンユニットやカッティング装置からハンドルへの振動の伝達を軽減します。カッティング装置を含むエンジン本体は、防振装置によってハンドルに振動が伝わりにくくなっています。



防振装置の検査



警告!停止スイッチを STOP 位置にして、エンジンを切ってください。

- 防振装置にヒビや変形がないか、定期的に点検します。損傷がある場合、交換してください。
- 防振装置がエンジンユニットとハンドルユニットの間にしっかりと固定されていることを確認します。

マフラー

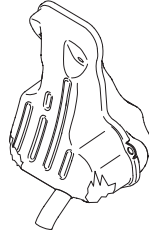


警告!マフラー無しの製品や欠陥のあるマフラーを装着した製品は決して使用しないでください。マフラーに損傷があると騒音レベルや火災の危険性が高くなります。消火装置をすぐ使用できるように用意しておいてください。

マフラーは使用中や使用直後、アイドリング時に非常に熱くなります。特に可燃物や可燃性ガスの近くで作業をするときは、火災の危険性に注意してください。

消火装置をすぐ使用できるように用意しておいてください。

マフラーは騒音のレベルを最小限に抑え、排気ガスを使用者から遠ざける働きをします。



マフラーの点検

マフラーが完全に正常で、正しく固定されていることを定期的に確認します。

カッティングブレード

全般



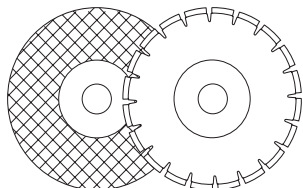
警告!カッティングブレードが壊れて、作業者がけがをすることがあります。

カッティングブレードのメーカーは、カッティングブレードの使用と正しい手入れに関する警告と推奨事項を公表しています。これらの警告はカッティングブレードに同梱されています。カッティングブレードメーカーからの指示を読み、従ってください。

カッティングブレードは、本体に取り付ける前に確認し、使用中にも頻繁に確認する必要があります。ヒビ、切片（ダイヤモンドブレード）の欠損、または破損した部品がないか調べてください。損傷のあるカッティングブレードは使用しないでください。

カッティングブレードを新品と交換した場合は、約1分間フルスロットルで運転して、問題がないことをテストしてください。

- カッティングブレードには、2種類の基本デザインがあります。研磨ブレードとダイヤモンドブレードです。



- 高品質のブレードが、ほとんどの場合、最も経済的です。低品質のブレードは、切断能力が低く、寿命が短いことが多く、切断できる材料の量を考慮するとコスト高になります。
- 本機にカッティングブレードを取り付ける際は、適切なブッシングを使用してください。「カッティングブレードの組み立て」の説明を参照してください。

適切なカッティングブレード

カッティングブレード	K 770	K 770 Rescue
研磨ブレード	使用可*	使用可*
ダイヤモンドブレード	有り	有り
歯付きブレード	使用不可	使用可**

詳しくは、「主要諸元」を参照してください。

*水なし

**「歯付きブレード、カーバイドチップブレードおよび緊急事態」の説明をご覧ください。

様々な素材に対応するカッティングブレード



警告!カッティングブレードは、用途対象材料以外に絶対に使用しないでください。

プラスチック材の切断にダイヤモンドブレードは決して使用しないでください。切断中に熱が発生してプラスチックが溶け、カッティングブレードに付着し、キックバックを起こすことがあります。

金属の切断は、火災の原因となる火花を発生させます。引火しやすい物質やガスの近くで本機を使用しないでください。

様々な用途に対するブレードの適性に関しては、カッティングブレードの説明書に従うか、代理店にご相談ください。

	コンクリート	金属	プラスチック	铸铁
研磨ブレード	X	X	X	X
ダイヤモンドブレード	X	X*		X*

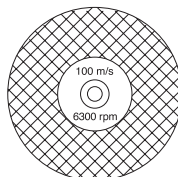
*特殊ブレードのみ。

手持ち式高速カッター



警告!パワーカッターよりも遅い定格速度のカッティングブレードを使用しないでください。国または地域の基準（EN 13236、EN 12413、ANSI B7.1 など）に準拠しているブレードのみを使用してください。

- 固定式のカッター用のカッティングブレードには、本機に取付可能なものが多いですが、そのほとんどが手持ち式の本機に必要な定格速度よりも遅いものです。定格速度が遅いカッティングブレードを、本機に決して使用しないでください。
- ハスクバーナのカッティングブレードは、手持ち式の高速パワーカッター用に製造されています。
- ブレードが、エンジンの定格銘板に記載されたものと同じまたはそれ以上の速度に準拠しているか確認してください。パワーカッターよりも遅い定格速度のカッティングブレードを使用しないでください。



カッティングブレード

ブレードの振動

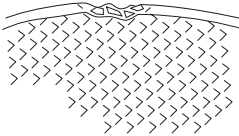
- フィード圧が高すぎると、ブレードにひずみが生じて、振動することがあります。
- フィード圧を下げることに、振動を停止させることができます。あるいは、ブレードを交換します。

研磨ブレード

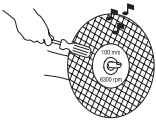


警告!水と共に研磨ブレードを使用しないでください。研磨ブレードは、水や湿気にさらされると強度が低下し、ブレード破壊の危険が増します。

- 研磨ブレード上の切断素材は有機結合材で接着した粒子から構成されています。「補強ブレード」は繊維または繊維ベースの材料を使用しており、最高作動速度の際にブレードがヒビや損傷を受けても、完全に破損することを防止します。
- カッティングブレードの性能は研磨粒子のタイプやサイズ、ならびに結合剤の種類および硬度により決まります。
- ひび割れや損傷のあるカッティングブレードは決して使用しないでください。



- 研磨ブレードを指で吊り下げ、ねじ回しのようなツールで軽く叩いてください。ブレードから共鳴音が聞こえないときは、破損しています。



様々な素材に対応する研磨ブレード

ブレードの種類	材質
コンクリート用ブレード	コンクリート、アスファルト、石材、铸铁、アルミニウム、銅、真ちゅう、ケーブル、ゴム、プラスチックなど。
金属用ブレード	鉄、鉄合金、その他の硬質金属。

ダイヤモンドブレード

全般

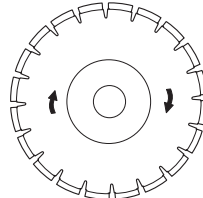


警告!プラスチック材の切断にダイヤモンドブレードは決して使用しないでください。切断中に熱が発生してプラスチックが溶け、カッティングブレードに付着し、キックバックを起こすことがあります。

ダイヤモンドブレードは、使用中、非常に熱くなります。誤った使用はブレードの過熱を引き起こし、ブレードの変形によって、損傷や傷害を招くことがあります。

金属の切断は、火災の原因となる火花を発生させます。引火しやすい物質やガスの近くで本機を使用しないでください。

- ダイヤモンドブレードは、工業用ダイヤモンドを含む切片が鋼鉄製ブレード本体に付いた構成になっています。
- ダイヤモンドブレードは交換頻度が低く、一定の切断深度を保つことができ、切断操作に係るコストを低減することができます。
- ダイヤモンドブレードを使用するときは、ブレードに表記された矢印の方向に回転することを確認してください。



さまざまな素材に対応するダイヤモンドブレード

- ダイヤモンドブレードは石材、鉄筋コンクリート、その他の複合材料の切断に適しています。
- ダイヤモンドブレードは、さまざまな硬度のものが用意されています。
- 金属を切断する場合は、特殊ブレードを使用してください。製品の正しい選択については、販売店にご相談ください。

ダイヤモンドブレードの研ぎ方

- 常に鋭利なダイヤモンドブレードをお使いください。
- ダイヤモンドブレードは、フィード圧が適切でなかったり、強化鉄筋コンクリートなどの材料を切断したりすると、鋭さが失われます。切れなくなったダイヤモンドブレードで作業をすると、ブレードの過熱が生じ、ダイヤモンド切片が外れることがあります。
- 砂岩やれんがのような柔らかい物質を切断してブレードの目立てを行ってください。

カッティングブレード

ダイヤモンドブレードと冷却

- 切断中、切断部の摩擦によりダイヤモンドブレードが高温になります。ブレードの温度が高くなり過ぎると、ブレードのテンションが失われたり、コアに亀裂が入ったりする原因になります。

乾式切断用のダイヤモンドブレード

- 冷却に水は不要ですが、乾式カッティングブレードは、ブレードの周囲の空気の流れにより冷却する必要があります。このため、乾式カッティングブレードは断続的な切断にのみ推奨されます。切断の数秒ごとに、負荷をかけずにブレードを運転して、ブレードの周囲の空気により熱を逃がす必要があります。

湿式切断用のダイヤモンドブレード

- 湿式切断用のダイヤモンドブレードは、切断中にブレードコアと切片の温度を低く保つために、水とともに使用する必要があります。
- 湿式カッティングブレードを乾燥状態で使用しないでください。
- 水なしで湿式カッティングブレードを使用すると、過度の発熱が起これ、性能の低下やブレードの激しい損傷の原因となり、危険です。
- 水冷却はブレードの寿命を延ばし、同時に塵の堆積を減少させます。

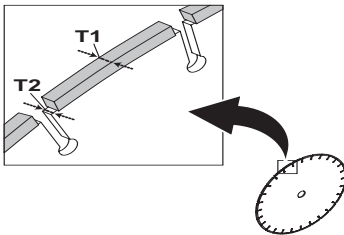
ダイヤモンドブレード - サイドクリアランス



警告! 特定の切断状況または品質が落ちたブレードにより、セグメントの側面が過度に摩耗する場合があります。

切れ目に食い込むこととキックバックを防止するために、ダイヤモンドセグメント (T1) の幅がブレードコア (T2) よりも広いことを確認してください。

ブレードは完全に摩耗する前に交換してください。



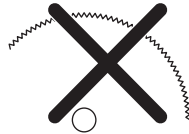
ハスクバーナ製ブレードには、ブレードの寿命の判断に役立つようにサイドクリアランス摩耗インジケータが付いているものがあります。

歯付きブレード、カーバイドチップブレードおよび緊急事態



警告! 木材切削ブレード、円形歯付きブレード、先端が炭化物のブレードなどの歯付きブレードを使用しないでください。キックバック発生の危険性が大幅に増し、チップが裂けて高速で飛び散る可能性があります。不注意によって、重傷や死亡事故が起きる可能性があります。

政府規制では、カーバイドチップブレードには、パワーカッターで利用できない、360度ガードと呼ばれる別のタイプのガードが要求されます。パワーカッター (本機) は、研磨ブレードまたはダイヤモンドブレードを使用しており、ガードシステムが異なるため、木材切削ブレードによる危険を防止できません。



このような、カーバイドチップブレードを装着したパワーカッターの利用は、労働安全規制に違反します。

ただし、高度な訓練を受けた公共安全を守る各種部隊や安全に関する専門家 (消防隊など) による消防および救助活動には必然的に危険や緊急事態を伴い、カーバイドチップブレードにはブレードや機械を取り換え切り替えることなく各種障害物や材質と一緒に切断する能力があることから、ハスクバーナは、そのような方たちが、一部の緊急事態においてこのようなカーバイドチップブレードを装着したパワーカッターを使用する可能性があることを認識しています。パワーカッターを使う際には、正しく使用しないと、カーバイドチップブレードが研磨ブレードやダイヤモンドブレードよりもキックバックを起こしやすいことを、常に心に留めてください。また、カーバイドチップブレードでは、材質の破片が飛ぶことがあります。

そのため、その他の工具では消火/救出活動に不十分で、有効ではないと判断される場合で、高度な訓練を受け、使用に伴う危険を認識している公共安全の専門家が緊急事態で使用する以外では、カーバイドチップブレードを装着したパワーカッターは絶対に使わないようにしてください。救出活動以外では、カーバイドチップブレードを装着したパワーカッターを木材の切断には絶対に使わないでください。

搬送と保管

- カッティングブレードを付けたままパワーカッターを保管したり、搬送しないでください。使用後はすべてのブレードを取り外し、慎重にブレードを保管してください。
- カッティングブレードは 霜の発生しない乾燥した場所に保管してください。研磨ブレードは慎重に取り扱ってください。研磨ブレードは必ず水平にして保管してください。研磨ブレードを湿気のある場所で保管すると、バランスが悪くなり、負傷の原因になります。
- 新品のブレードは、搬送や保管による損傷がないか点検してください。

全般



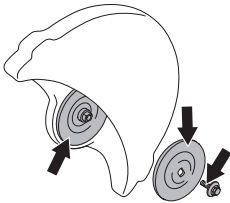
警告! 停止スイッチを STOP 位置にして、エンジンを切ってください。

ハスクバーナのブレードは手持ち式パワーカッター用に認定された高速ブレードです。

スピンドルシャフトとフランジワッシャーの点検

ブレードを新品に交換した場合、フランジワッシャーとスピンドルシャフトを点検します。

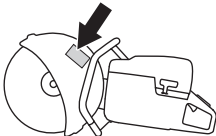
- スピンドルシャフト上のねじ山に損傷がないか確認します。
- ブレードとフランジワッシャーの接触面に損傷がないこと、正しいサイズであること、汚れがなく、スピンドルシャフト上で適切に動作することを確認します。



曲がっていたり、角がかけたり、不均衡であったり、または汚れているフランジワッシャーは使用しないでください。違うサイズのフランジワッシャーは使用しないでください。

アーバブッシングの点検

アーバブッシングは、本機をカッティングブレードのセンター穴に取り付けるために使用します。本機には、逆向きにして 20 mm または 1 インチ (25.4 mm) のセンター穴があるブレードに取り付けることができるブッシング、または固定された 20 mm のブッシングが同梱されています。ブレードガード上のステッカーは、工場出荷時のブッシングの種類と適切なブレード仕様を示しています。

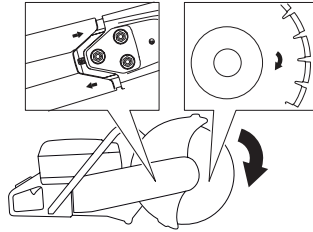


- 本機のスピンドルシャフト上のブッシングと、カッティングブレードの中心ホールがぴったりと合っていることを確認してください。ブレードにはセンター穴の直径が記してあります。

必ずハスクバーナ製のブッシングを使用してください。ハスクバーナ製のブッシングは本機専用に設計されています。

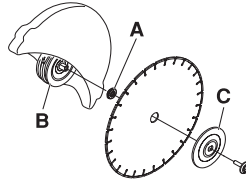
ブレード回転方向の検査

- ダイヤモンドブレードを使用するときは、ブレードに表記された矢印の方向に回転することを確認してください。マシンの回転方向は、カッティングアーム上の矢印で示されています。

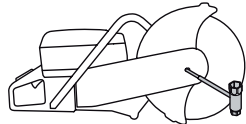


カッティングブレードの取付

- ブレードは、内部フランジワッシャー (B) とフランジワッシャー (C) の間のブッシング (A) 上に設置されます。フランジワッシャーを回し、軸へ取り付けます。



- シャフトをロックします。工具をカッティングヘッドの穴へ挿入して、ロックされるまでブレードを回転します。



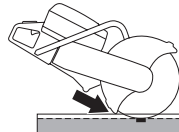
- ブレードを留めるボルトの締め付けトルクは 25 Nm (215 インチパウンド) です。

ブレードガード

カッティング装置用ガードを適切に調整して、後部が切断対象物と同一平面上になるようにします。ガードは切断くずや火花が飛び散るのを防ぎ、使用者を保護します。

ブレードガードはフリクションロック方式になっています。

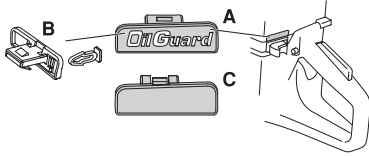
- ガードの終端を加工物へ押し付けるか、あるいは、調整ハンドルによってガードを調整してください。ブレードガードを、パワーカッターに必ず取り付けてください。



組立と調整

OilGuard の解除 (K 770 OilGuard)

- 本機の出荷時には、OilGuard プラグ (A) とブルーインジケーターピン (B) がタンクに取り付けられています。



- ハスクバーナの OilGuard オイルではなく、同等の品質のオイルを使用する場合は、解除機能により OilGuard システムを無効にすることができます。
- 機能を無効にするには、ドライブで OilGuard のプラグを緩め、インジケーターピンを折ります。ディスコネクタプラグ (C) をタンクに取り付けて穴を塞ぐと、無効化が完了します。
- OilGuard システムを再び有効にする場合は、OilGuard プラグをもう一度押します。システムが再び有効になりますが、折ったインジケーターピンを再び装着することはできない点に注意してください。
- インジケーターピンが折れている場合は、OilGuard システムが解除されたことがあると分かります。
- スペアとして新しいインジケーターピンを購入できますが、販売されているのはグレーのインジケーターピンのみで、これは工場出荷後に OilGuard システムが無効にされたことを示します。

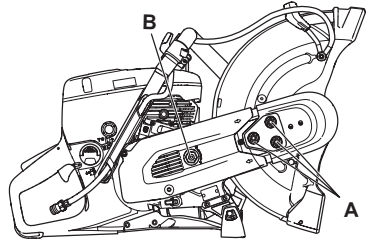
リバーシブルカuttingヘッド

本機は、リバーシブルカuttingヘッドが取り付けられており、壁や地面へ近接して切断できます。このときの距離はブレードガードの厚みによってのみ制限されます。

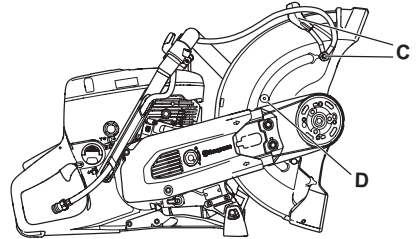
カuttingヘッドを反転して切断する際は、キックバックが起こった場合に製品の制御が難しくなります。カuttingブレードが製品の中心から大きく離れた場合、ハンドルとカuttingブレードが一直線にないことを意味しています。このような状態で、ブレードがキックバック危険ゾーンで挟まったり、引っかかりたりした場合、マシンを抑制するのは非常に難しくなります。キックバックに関する詳細内容については、「操作」内の「キックバック」を参照してください。

バランスなど、製品が備えている人間工学的に優れた特徴が一部役に立たなくなります。一般的な方法による切断が困難な場合にのみ、カuttingヘッドを反転して切断するようにしてください。

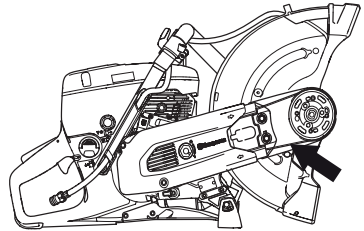
- 上側ベルトガードを支えている3つのナット (A) を緩めます。ベルトテンション (B) を「0」位置まで回し、張りを緩めます。



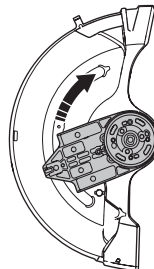
- 上側ベルトガードを外します。
- 水ホースニップルとハンドルをブレードガード (C) から外します。留め具 (D) を外します。



- これでカuttingヘッドが緩み、製品から取り外すことができます。ベルトプーリーからベルトを外します。

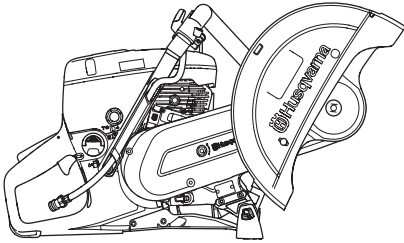


- ベアリングハウジングを反対方向に回し、留め具を再び取り付けます。

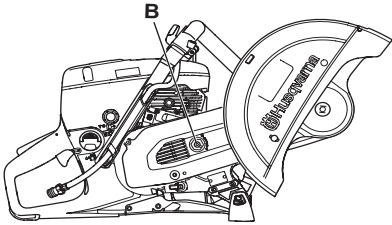


組立と調整

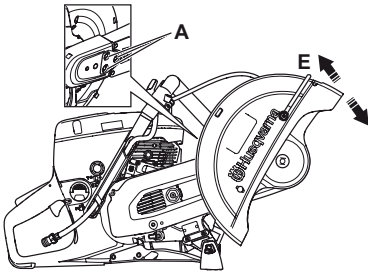
- カuttingヘッドを、カuttingアームの反対側へ取り付けます。



ベルトテンション (B) を「1」位置まで回し、ドライブベルトを締め込みます。

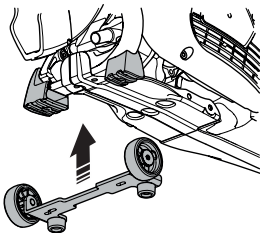


- 反転したカuttingヘッドにベルトガードを取り付けます。
- 水ホースニップルとホースをブレードガードの反対の上部に取り付けます。
- 適切なドライブのベルトの張りを得るには、まずナット (A) を締め込んでから、1~2 回回して緩めます。ブレードガード (E) を 3~5 回上下にゆすってから、ナット (A) をコンビレンチで締め込みます。



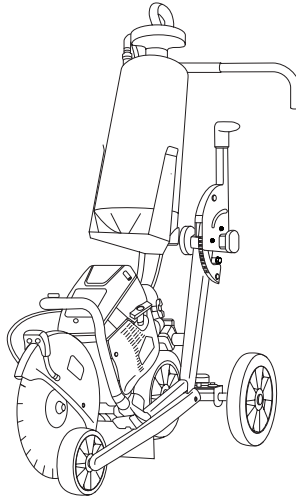
ホイールキット (アクセサリ)

ホイールは簡単に追加できます。



カuttingトロリー (アクセサリ)

カuttingトロリーを使用すると、特に床や道路を決まった深さで長く切断する作業を簡単に行うことができます。すばやく接続できるので、カッターをトロリーに簡単に取り付けることができます。



燃料の取り扱い

全般



警告!狭い場所や換気の悪い場所でエンジンをかけると窒息死や一酸化炭素中毒の原因となることがあります。1メートル以上の深い溝や堀などで作業する場合、ファンを使用して適切な換気を確保してください。

燃料や燃料ガスは、非常に可燃性が高く、人間が吸いこんだり、皮膚に付着したりすると深刻な傷害を引き起こすおそれがあります。このため、燃料の取り扱いには細心の注意を払い、十分な換気を確保するようにしてください。

エンジンの排気ガスは高温で火花を含むこともあり、火災発生の原因となります。屋内や可燃物のそばでは、決して本機を始動しないでください!

燃料付近では、喫煙したり、熱い物体を置いたりしないでください。

燃料

注記!本機は2サイクルエンジンを搭載しているため、運転にはガソリンと2サイクルオイルの混合燃料が必要です。正しい割合で混合するには、オイルの量を正確に計量することが重要です。少量の燃料を混合する場合は、わずかな誤差でも配合に多大な影響を及ぼすことがあります。

ガソリン

- 良質の無鉛または有鉛ガソリンを使用してください。
- 推奨する最低オクタン価は 90 (RON) です。オクタン価が 90 未満のガソリンを使用すると、ノッキングの原因となります。ノッキングが起きるとエンジンの温度が上がって、エンジンの深刻な損傷につながる場合があります。
- 高回転を継続させて作業する場合、オクタン価の高いガソリンを推奨します。

環境に優しい燃料

ハスクバーナは、Aspen (アスペン) 2サイクル燃料または4サイクルエンジン用のエコガソリンに2サイクルオイルを下表の通り混合したもののいずれかの、アルキレート燃料の使用を推奨します。燃料のタイプを変更した場合、キャブレターの調整が必要です。ご注意ください(「キャブレター」参照)。

エタノールを混合した燃料、E10 が使用できます(エタノールの混合率最大10%)。E10 を超えるエタノール混合燃料の使用は、動作条件を劣化させてエンジンの損傷を引き起こします。

2 サイクルエンジンオイル

- 最良の効果と性能を得るには、ハスクバーナ 2 サイクルエンジンオイルをご使用ください。このオイルは本機に使用される空冷式 2 サイクルエンジン用として特別に調合されています。
- アウトボードオイル(TCW)とも呼ばれる水冷エンジン用の 2 サイクルオイルは絶対に使用しないでください。
- 4 サイクルエンジンオイルも絶対に使用しないでください。

K 770 OilGuard

- ハスクバーナ OilGuard 2 サイクルオイルを使用してください。

混合

- ガソリンとオイルを混合するときは、必ず清潔な燃料用容器をご使用ください。
- 必ず使用予定の半量のガソリンを、最初に容器に入れます。次にオイルの全量を入れます。燃料の混合物をよく混ぜ(振り)ます。最後に残りのガソリンを加えます。
- 燃料タンクに給油する前に、混合燃料をよく混ぜ(振り)ます。
- 1ヵ月分以上の混合燃料を一度に作らないでください。

混合比

- ハスクバーナ 2 サイクルオイルまたは同等のものを使用の場合、1:50 (2%) にしてください。

ガソリン、リットル	2 サイクルエンジンオイル、リットル 2 % (1:50)
5	0,10
10	0,20
15	0,30
20	0,40

- 空冷 2 サイクルエンジン用に調合されたオイルクラス JASO FB または ISO EGB、またはオイル製造者の推奨に従って混合したものを使用する場合、1:33 (3%) にしてください。

燃料の取り扱い

給油



警告! 火災を避けるため、以下の注意を守ってください。

燃料付近では、喫煙したり、熱い物体を置いたりしないでください。

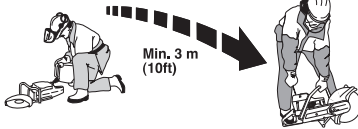
給油をする前には、必ずエンジンを止めて数分間温度が下がるのを待ってください。停止スイッチを STOP 位置にして、エンジンを切ってください。

給油の際には、超過圧力が徐々に放出されるよう、燃料キャップをゆっくり開けてください。

燃料キャップの周囲をきれいにしてください。給油後は燃料キャップをしっかりと閉めてください。

キャップがしっかりとしまっていない場合、キャップが振動で緩くなり、燃料が燃料タンクからもれて火災が発生するおそれがあります。

給油後は、給油した場所から少なくとも 3 m 離れたところで始動してください。



下記の条件では、決して本機を始動しないでください。

- 本機に燃料やエンジンオイルをこぼしたとき。きれいに拭き取り、表面に残った燃料が蒸発するのを待ちます。
- 皮膚や衣服に燃料がかかったときは着替えます。皮膚についた燃料を洗い流してください。石鹸と水を使用します。
- 燃料が漏れている場合。燃料キャップと燃料ホースから漏れていないか、定期的に点検してください。
- 燃料充填後に燃料キャップをしっかりと締めていない場合。

搬送と保管

- 本機と燃料は、電気機器、電気モーター、リレー／スイッチ、ボイラーなど、火花や裸火を発生ものから離して保管・運搬し、液体漏れやガスによる火災発生危険性をなくしてください。
- 燃料の保管や搬送を行う場合は、必ず認可された専用容器を使用してください。

長期保管

- 本機を長期間保管するときは、必ず燃料タンクを空にしてください。余剰燃料の廃棄場所は最寄りのガソリンスタンドにご相談ください。

OilGuard (K 770 OilGuard)

- OilGuard を装備した製品は、不適切な混合燃料を認識できる内蔵システムを持っています。
- 本機を始動すると、検知器が燃料の品質を検出します。これには約 10 秒かかります。適切な量のハスクバーナの OilGuard オイルが使用されている場合、本機は通常で稼働します。違う種類のオイルが使用されている場合、製品がこれを検出し、エンジンの回転数を 3,800 rpm へ制限し、エンジンの損傷を回避します。
- 本機を通常で再び稼働させるには、不適切な混合燃料を排出してから、正しい比率 (2 %) のハスクバーナ OilGuard オイルが含まれる混合燃料を本機に注入する必要があります。

プロテクティブ装具

全般

- 事故のときに助けを求めることができない状況で、本機を使用してはいけません。

使用者の防護装備

本機を使用するときは、認可されたプロテクティブ装具を必ず着用してください。身体保護具で負傷の危険性をなくすることができるわけではありませんが、万が一事故が起こった場合でも、負傷の程度を軽減できます。プロテクティブ装具の選択については、本機の販売店にご相談ください。



警告!材料の切断、粉碎、穴あけ、サンディング、形成を行う機械を使用すると、人体にとって危険な化学物質を含んだ粉塵や蒸気が生成されることがあります。加工する材料の性質を確認して、適切な呼吸マスクを使用してください。

長時間騒音にさらされることは、恒久的な聴覚障害の原因になることがあります。本機を使用する際は、品質を保証されたイヤマフを必ず着用してください。イヤマフを着用している間、警告信号や叫び声に気を付けてください。エンジンが停止したら、速やかにイヤマフを外してください。

常に下記のを着用してください。

- 認可された防護ヘルメット
- イヤマフ
- 認可された防護メガネ。防護マスクを使用する場合、認可された保護ゴーグルも着用する必要があります。認可された保護ゴーグルは、米国の ANSI Z87.1 あるいは EU 諸国の EN 166 規格に適合していなければなりません。バイザーは、EN 1731 規格に適合していなければなりません。
- 認可された呼吸器保護具
- 高耐久性で、物をしっかりとつかむことができる保護グローブ
- 体の動きを制限することのない、体にフィットした、丈夫で快適な服装。切断の際には火花が発生し、衣服に着火することがあります。防火綿または厚地のデニムを着ることを推奨します。ナイロン、ポリエステル、レーヨンなどの材質の衣服は着用しないでください。このような材質が発火した場合、溶けて肌にはりつく場合があります。短パンは着用しないでください。
- つま先部スチール製、ノンスリップ靴底の防護靴

その他のプロテクティブ装具



注意!本機での作業中、火花や火が発生することがあります。必ず消火装置をお手元に装備してください。

- 消火器
- 常に救急箱を身近に備えてください。

一般的な安全注意事項

このセクションでは、本機の使用に際しての基本的な安全注意事項について説明します。記載された情報は、専門家の技術や経験に相当するものではありません。

- 本機をご使用になる前に、この取扱説明書を注意深くお読みいただき、内容を必ずご確認ください。作業者が初めて使用する場合、使用前に実践的な指示も受けることを推奨します。
- 周囲の人やその所有物をさまざまな事故や危険にさらさないようにする責任は、使用者自身にあることを忘れないでください。
- 本機は常にきれいにしておいてください。目印やステッカーは、法規に完全準拠しなければなりません。

いつも常識のある取り扱いを

起こり得る状況をすべて予測し、対応することは不可能です。常に注意を払い、常識に合った使用方法で操作してください。安全性に懸念が生じたら、作業を停止し、専門家のアドバイスを受けてください。本機をお買い上げになった販売店、サービス代理店や熟練ユーザーなどに相談してください。確信をもてない作業は行わないでください。



警告!本機は危険を伴う道具です。不注意な使用や不適切な使用によって、使用者やその他の人々が重傷や致命傷を負う危険性があります。

子供や本機の扱いに不慣れた人間に本機を使用させないようにしてください。

本取扱説明書の内容を読んで、理解していない人には決して本機の使用を許可しないでください。

疲労時や飲酒後、視野・判断力・動作に影響を及ぼすような医薬品を服用したときは絶対に本機を使用してはいけません。

操作



警告!承認を受けていない修正と付属品の使用、あるいはそのいずれかは、使用者や周囲の人に対して深刻な傷害をもたらすことがあります。いかなる理由であれ、製造者の承認を得ることなく本機の設計に変更を加えないでください。

本製品を改造したり、改造の疑いがある製品を使用しないでください。

本機に欠陥がある場合は絶対に使用しないでください。この取扱説明書の内容に従って、安全点検、メンテナンス、サービスを行ってください。メンテナンスやサービスの内容によっては、専門家でないだけではできないものもあります。詳細は、「メンテナンス」を参照してください。

常に純正の部品をお使いください。



警告!本機は、運転中に電磁場を生成します。この電磁場は、場合によって能動的あるいは受動的な医療用インプラントに影響を及ぼすことがあります。深刻なまたは致命傷の危険を避けるため、医療用インプラントを使用している人が本機を操作する前に、主治医およびペースメーカーの製造元に相談することをお勧めします。

- 作業エリアには十分な照明が当てられており、安全な作業環境であることを確認します。
- 配管や電気ケーブルが、作業エリアや切断する材料を通していないことを確認してください。
- 容器（ドラム、パイプなど）を切断するときは、最初に、可燃性の物質や揮発性の物質が入っていないことを必ず確認してください。

基本的な作業方法



警告!パワーカッターを片側に引っ張らないでください。ブレードがロックしたり破損したりしてけがをするおそれがあります。

いかなる場合でもブレードの側面で研磨はしないでください。損傷や破損を起こし、重大な損害の原因になります。刃先の部分のみを使用してください。

他のブレードによる既存の切れ目に入れる前に、ブレードが切れ目より幅が狭いことを確認してください。切れ目に食い込み、キックバックするおそれがあります。

プラスチック材の切断にダイヤモンドブレードは決して使用しないでください。切断中に熱が発生してプラスチックが溶け、カッティングブレードに付着し、キックバックを起こすことがあります。

金属の切断は、火災の原因となる火花を発生させます。引火しやすい物質やガスの近くで本機を使用しないでください。

- 本機は、手持ち式の高速切削工具として、研磨ブレードあるいはダイヤモンドブレードによる切断が実施できるように設計されています。本機に他の種類のブレードを装着しないでください。また、用途外の切断には使用しないでください。
- カッティングブレードが正しく取り付けられており、損傷がないことを確認します。詳細は、「カッティングブレード」および「取り付けと調整」を参照してください。
- 対象となる用途に適したカッティングブレードを必ず使用してください。詳細は、「カッティングブレード」を参照してください。

作業エリアの安全

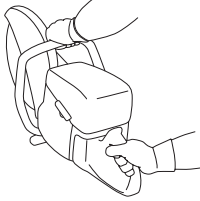


警告!パワーカッターの安全距離は 15 メートル (50 フィート) です。使用者は、動物や傍観者が、作業エリアにいないことを確認する責任を負っています。切断は、作業エリアに問題がなく、足場がしっかりしている場合にのみ、開始してください。

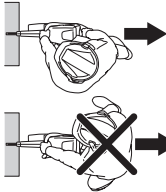
- 周囲の状況をチェックして、本機の使用に影響があるものを除去してください。
- 人間や物体が切断装置に接触しないこと、さらに、切断中に飛び散る物体にぶつからないことを確認してください。
- 濃霧、豪雨、強風、厳寒など、気象条件の悪いときは、本機を使用しないでください。悪天候下での作業は、疲れやすく、また、足元が滑りやすくなるなど危険です。
- 作業エリアに余分なものがいないことや、足場が安定していることを確認してから、本機の使用を開始してください。物が予期せずに移動してぶつかることがないように、注意を払ってください。切断時は、物が崩れたり、落下したりして、作業者がけがをしないように気をつけます。傾斜した場所で作業を行うときは特に注意します。

操作

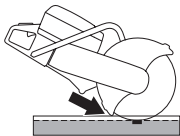
- アスベスト材は切断しないでください！
- 本機を両手で持ち、親指と他の指で取り囲むようにしっかりハンドルを握ります。右手でリアハンドル、左手でフロントハンドルを握ってください。右利き、左利きにかかわらず、必ずこの握り方をしてください。パワーカッターを片手だけで操作することは厳禁です。



- カuttingブレードに対して平行に立ちます。本機の後後に立たないようにしてください。キックバックが発生した場合、ソーはカuttingブレードの水平面方向に動きます。

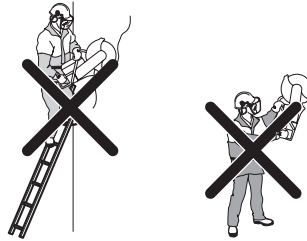


- エンジンの動作中は、ブレードから安全な距離を保ちます。
- モーターが作動している状態、および管理者のいない状態で本機を放置しないでください。
- カutting装置を回転させたまま、本機を移動しないでください。本機を地面に置く前に、ブレードが完全に停止していることを確認してください。製品には、停止時間を短縮するための摩擦抑制装置が備わっています。
- カutting装置用ガードを適切に調整して、後部が切断対象物と同一平面上になるようにします。ガードは切断くずや火花が飛び散るのを防ぎ、使用者を保護します。切断装置のガードが、本機の運転時にはいつでも取り付けられている必要があります。



- ブレードのキックバックゾーンで切断しないでください。詳細は、「キックバック」を参照してください。
- バランスを保ち、しっかりした足場を確保してください。
- 肩より高い位置で切断を行わないでください。

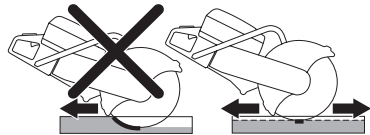
- ハシゴに乗って切断しないでください。肩より高い位置で切断する場合は、台や足場を利用してください。無理な体勢で作業しないでください。



- 切断対象物からほどよい距離に立ちます。
- パワーカッターを始動するとき、ブレードに何も触れていないことを確認します。
- カuttingブレードの回転を徐々に上げていき、高速回転（フルスロットル）にします。切断が終了するまでフル回転を維持します。
- 本機を動作させるときは、ブレードに力を込めたり、押したりしないでください。
- ブレードが対象物に垂直に当たるように真っ直ぐに下ろします。横からの圧力が加わると、ブレードが損傷し、非常に危険です。



- ブレードをゆっくり前方、後方へ交互に移動することで、ブレードと切断対象材料との接触部分を小さくできます。こうすることによって、ブレードの温度を下げ、切断効果が高まります。



粉塵の管理

製品には、粉塵の発生を最小限に抑制する低圧流水キットが備わっています。

使うことで最適な粉塵の管理ができる場合は、水冷式の湿式カuttingブレードを使用してください。詳細は、「カuttingブレード」を参照してください。

バルブで水流を調整し、切断で生じる粉塵が舞い上がるのを防ぎます。必要な水量は、実施する作業の種類に応じて変わります。

製品を水の供給源に水ホースでつないでも、供給源から外れてしまうようなときは、水圧が高過ぎることを示しています。推奨水圧については、「主要諸元」の説明を参照してください。

操作

救助活動における歯付きブレードあるいはカーバイドチップブレードを使用した切断作業



警告!カーバイドチップブレードを装着したパワーカッターは、建設作業などの非緊急業務では使用しないでください。

カーバイドチップブレードは、正しく使用しない場合、研磨ブレードやダイヤモンドブレードよりもキックバックを起こしやすいことを、常に心に留めてください。

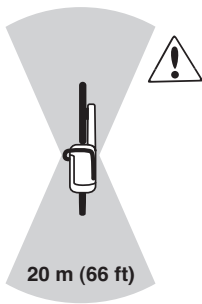
本機を購入した公的救助隊（消防隊）が、カーバイドチップブレードをマシンに装着して使用する場合、以下の安全事項を遵守する必要があります。

訓練と防護具

- カーバイドチップブレードを装着したパワーカッターによる切断作業を訓練したことのある作業員だけに、パワーカッターの使用を認めるようにしてください。
- 作業員は、常に完全耐火服を着用してください。
- 作業員は、フルフェイスの防護マスク（防護メガネのみは不可）を着用して、飛び散ってくる破片やパワーカッターの突然起きるキックバックから顔を保護してください。

危険エリア

上記の保護装具を身につけていない人間は、破片などが飛び散ってくる可能性のある危険エリア内に入れないようにしてください。

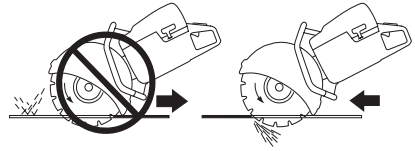


ブレード速度

カッティングブレードの回転を徐々に上げていき、高速回転（フルロットル）にします。切断が終了するまでフル回転を維持します。特に硬くて薄い物質の場合、ブレードを低速にするとカーバイドチップが詰まったり砕け散る可能性があります。

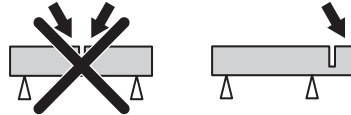
薄い材料

薄くて硬い材料（板金で覆われた屋根など）を切断する場合、最良のコントロールを得るために前方へ切断するようにしてください。



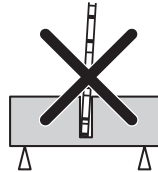
挟まりや引っ掛かり

切断の最終段階で加工物がどのように動くかを注意深く計算して、挟まりや引っ掛かりなどの障害を回避してください。切断中、切断部分が閉じないようにする必要があります。加工物に歪みが発生すると、切断部の空きスペースが無くなってブレードが挟まり、キックバックを起こしたり、ブレードを破損したりする可能性があります。



まっすぐに切断すること

切断ラインに対して斜めになったり、捻じれたりすると、切断効率の低下やブレードの損傷を招きます。



救助活動の前に

ブレードとブレードガードに損傷やひびのないことを確認します。強い力が加わったり、ひびが入ったときは、ブレードまたはブレードガードを交換します。

- カーバイドチップがカッティングブレードから緩んでいないかどうか検査します。
- ブレードに歪みがなく、ひびや他の損傷がないかどうか検査します。

硬い素材を切断すると、カーバイドチップブレードの切れ味は急激に悪くなります。救助活動のパフォーマンスを最大限に発揮できるよう、新しいブレードを装着しておくことを推奨します。

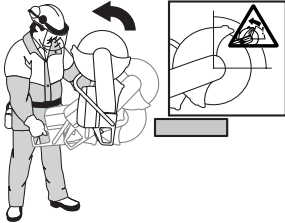
操作

キックバック



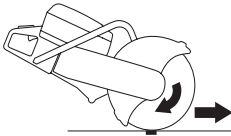
警告!キックバックは突然発生し、非常に危険な場合があります。パワーカッターが作業者に向かって回転しながら飛ばされて、人命にかかわる傷害を招くことさえあります。本機の使用前に、キックバックの原因と、その防ぎ方を理解することが非常に大切です。

キックバックとは、ブレードがキックバックゾーンで挟まれたり、引っかかりたりしたときに、パワーカッターが突然、上へ持ち上げられる現象です。ほとんどのキックバックは小規模で、それほど危険を伴わないものです。しかしながら、キックバックは非常に危険な挙動を発生させることがあり、作業者に向かってパワーカッターが回転しながら飛ばされて、人命にかかわるような事故が発生することもあります。



反作用力

切断時、反作用力は常に存在します。この力は、ブレード回転に対して逆の方向へ本機を引っ張るように働きます。通常、この力は問題にはなりません。ブレードが挟まれたり、引っかかりたりすると、反作用力は強力になり、パワーカッターをコントロールできなくなることがあります。



カッティング装置を回転させたまま、本機を移動しないでください。ジャイロ力により、意図した動きが阻害される場合があります。

キックバックゾーン

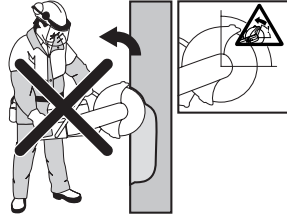
ブレードのキックバックゾーンで切断しないでください。ブレードのキックバックゾーンが挟まれたり引っかかりたりすると、反作用力により、作業者に向かってパワーカッターが回転しながら飛ばされて、人命にかかわるような事故が発生することもあります。



クライミングキックバック

キックバックゾーンで切削が行われると、反作用力によりブレードが切削箇所から持ち上げられます。キックバックゾーンを使用しないでください。クライミングキックバックを回

避するために、ブレードの下部、四分の一を使用してください。



ピンチングキックバック

ピンチングとは、切断部が閉じて、ブレードを挟んでしまうことです。ブレードが挟まれたり、引っかかりたりすると、反作用力は強力になり、パワーカッターをコントロールできなくなることがあります。

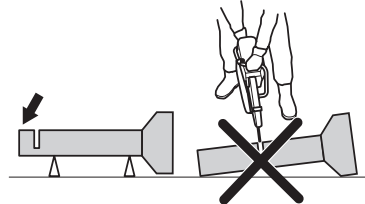


ブレードのキックバックゾーンが挟まれたり引っかかりたりすると、反作用力により、作業者に向かってパワーカッターが回転しながら飛ばされて、人命にかかわるような事故が発生することもあります。作業対象物が移動する可能性に注意してください。作業対象物がしっかりと保持されておらず、切断時に動くと、ブレードが挟まり、キックバックの原因になる可能性があります。

パイプ切断

パイプを切断する場合、特に注意すべきことがあります。パイプがしっかりと保持されておらず、切断時、切断部がオープン状態を維持している場合、ブレードがキックバックゾーンで挟まり、危険なキックバックが発生することがあります。先端が鐘型に広がったパイプや、トレンチに入っていてしっかりと保持されていないために、たわんでブレードが挟まる可能性のあるパイプを切断するときは、特に注意してください。

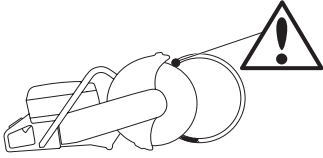
切断を開始する前に、切断中動いたり回ったりしないように、パイプをしっかりと固定する必要があります。



パイプがたわみ、切削部が閉じると、ブレードが挟まれ、キックバックゾーンに入り激しいキックバックが起きる可能性があります。パイプがしっかりと保持されていれば、パイ

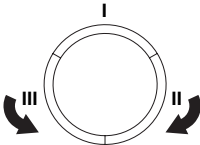
操作

ブの端が下に動くことで切断部が開き、挟まれることはありません。



パイプを切断する正しい順序

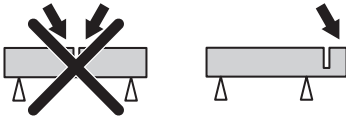
- 1 最初に、セクションIを切断します。
- 2 サイドIIに移動して、セクションIからパイプの底部まで切断します。
- 3 サイドIIIに移動して、底部のパイプの端部の残りの部分を切断します。



キックバックの避け方

キックバックの回避は簡単です。

- 加工物は常に保持して、切断の最後まで切断部が閉じないようにしてください。切断部が開いていれば、キックバックは発生しません。切断部が閉じて、ブレードが挟まると、常にキックバックの危険があります。



- 既存の切れ目にブレードを挿入するときは注意してください。
- 切断対象物の動きや、その他起こり得るどんなことに対しても油断をしないでください。切断面が閉じたりブレードが挟まれたりすることがあります。

搬送と保管

- 搬送の間、損傷や事故が起こらないように、機器をしっかり固定してください。
- カッティングブレードを付けたままパワーカッターを保管したり、搬送したりしないでください。
- カッティングブレードの搬送と保管については、「カッティングブレード」をご参照ください。
- 燃料の輸送と保管については、「燃料の取扱」をご参照ください。
- 本機は子供や許可されていない人の手の届かない鍵のかかる場所に保管してください。

始動と停止

始動前に



警告!始動時には以下の注意点を守ってください:本機をご使用になる前に、この取扱説明書を注意深くお読みいただき、内容を必ずご確認ください。

プロテクティブ装具を着用してください。「使用者の防護装備」の項の説明を参照してください。

ベルトまたはベルトガードが取り付けられていない状態で、本機を始動させないでください。クラッチが外れてけがをすることがあります。

燃料キャップが正しく固定されており、燃料漏れがないことを確認してください。

深刻な傷害を引き起こす危険があるので、関係者以外の人間が作業エリアに入れないようにしてください。

- 毎日のメンテナンスを実施してください。詳細は、「メンテナンス」を参照してください。

始動

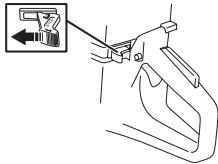


警告!カuttingブレードは、エンジンが始動すると回転します。正常に回転していることを確認してください。

常温エンジンの場合:



- 停止スイッチ (STOP) が、左の位置にあることを確認します。

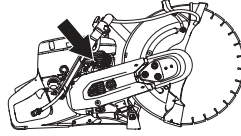


- チョークコントロールを完全に引き出すことにより、スタートスロットル位置とチョークの状態にすることができま。

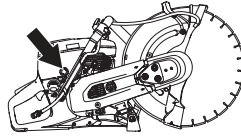


- **デコンプレッションバルブ:** シリンダー内の圧力を下げるため、バルブを押してください。これは、パワーカッターの始動を助けるためのものです。デコンプレッションバルブは、始動時に

は必ず使用してください。パワーカッターを始動すると、バルブは自動的に初期位置に戻ります。



- 燃料がダイヤフラムを満たし始めるまでエアパージダイヤフラムを繰り返し押します (約 6 回)。ダイヤフラムが満杯になるまで充填する必要はありません。



- 左手でフロントハンドルを握ります。後ろハンドルの下側に右足を乗せ、チェンソーを地面に押し付けます。エンジンが始動するまで、右手で開始ハンドルを押します。スターターロープは絶対に手に巻き付けしないでください。



- エンジンが始動したら素早くチョークコントロールを押します。チョークが引き出された状態のままだと、エンジンは数秒後に停止します (エンジンが停止した場合、スターターハンドルを再び引きます。)
- スロットルトリガーを押してスタートスロットルを解除すると、本機はアイドリング状態になります。

注記!抵抗を感じるまで (スターター爪が噛み合うまで) 右手でスターターロープをゆっくり引いて、抵抗を感じたら一気に強く引きます。

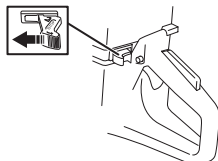
スターターロープをいっぱい引き出したところから、スターターハンドルを急に放さないでください。製品に損傷を与える恐れがあります。

始動と停止

暖機エンジンの場合:



- 停止スイッチ (STOP) が、左の位置にあることを確認します。



- チョークコントロールをチョーク位置に引きます。チョーク位置はまた自動スタートスロットル位置になります。



- デンプバルブ: シリンダー内の圧力を下げるため、バルブを押してください。これは、パワーカッターの始動を助けるためのものです。デンプバルブは、始動時には必ず使用してください。パワーカッターを始動すると、バルブは自動的に初期位置に戻ります。



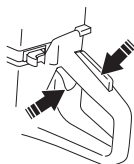
- チョークコントロールを押してチョークを無効にします。(スタートスロットル位置はそのままです。)



- 左手でフロントハンドルを握ります。後ろハンドルの下側に右足を乗せ、チェーンソーを地面に押し付けます。エンジンが始動するまで、右手で開始ハンドルを押します。スターターロープは絶対に手に巻き付けしないでください。



- 本機が始動した際、スロットルトリガーを押してスタートスロットルを解除すると、本機はアイドリング状態になります。



注記! 抵抗を感じるまで (スターター爪が噛み合うまで) 右手でスターターロープをゆっくり引いて、抵抗を感じたら一気に強く引きます。

スターターロープをいっぱい引き出したところから、スターターハンドルを急に放さないでください。製品に損傷を与える恐れがあります。



警告! エンジンの動作中、排気ガスには不燃焼の炭化水素や一酸化炭素などの化学物質が含まれています。このような排気ガスの含有物は、呼吸器障害、ガン、先天異常その他生殖障害の原因となることが知られています。

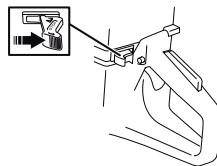
一酸化炭素は無色、無味で、排気ガスには必ず含まれています。一酸化炭素中毒の徴候は、軽度のめまいで、本人が認識できる場合も、できない場合もあります。一酸化炭素の濃度が高い場合、突然倒れ、意識を失う場合があります。一酸化炭素は無色無臭であるため、存在するかどうかわかりません。排気臭がする場合は必ず、一酸化炭素が存在します。ガソリン駆動のパワーカッターは、屋内や、3フィート (1メートル) 以上の深さの溝など、換気の悪い場所では絶対に使用しないでください。溝やその他密閉された場所で作業をする場合は、必ず換気を適切に行ってください。

停止



注意! カuttingブレードは、モーターが停止した後も 1 分間程度回転を続けます (ブレードコースティング)。Cuttingブレードは完全に停止するまで、そのまま回転させてください。不注意により、大けがをすることがあります。

- 停止スイッチ (STOP) を右に移動させることで、エンジンが停止します。



メンテナンス

全般



警告! 使用者は本取扱説明書に記載されているメンテナンスとサービスだけを実施してください。本書に記載されている内容以外のメンテナンスは、必ずお近くのサービス代理店（販売店）に依頼してください。

停止スイッチを STOP 位置にして、エンジンを切ってください。

プロテクティブ装具を着用してください。「使用者の防護装備」の項の説明を参照してください。

本機のメンテナンスを適切に行わなかったり、専門技術者が整備・修理を行わなかったりすると機械の寿命を縮め、事故発生の危険性が増します。詳しくは、お近くのサービスショップにお問い合わせください。

- ハスクバーナの販売店には定期的にマシンの検査をさせ、不可欠な調整や修理を行わせてください。

メンテナンススケジュール

メンテナンススケジュールにより、メンテナンスが必要なマシンの箇所と、それを実施すべき頻度が分かります。実施間隔は、マシンが毎日使用されることを前提に算出されていて、使用頻度によって異なります。

毎日行うメンテナンス	毎週行うメンテナンス	毎月行うメンテナンス
清掃	清掃	清掃
外部の清掃		スパークプラグ
冷却用吸気口		燃料タンク
機能検査	機能検査	機能検査
一般点検	防振装置*	燃料システム
スロットルロック*	マフラー*	エアフィルター
停止スイッチ*	駆動ベルト	ドライブギア、クラッチ
ブレードガード*	キャブレター	
カッティングブレード**	スターターハウジング	
給水システム		
燃料漏れがないかチェックします。		

*「本機の安全装置」を参照してください。

**「カッティングブレード」および「組み立てと設定」を参照してください。

メンテナンス

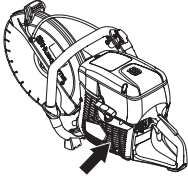
清掃

外部の清掃

- 作業の終了時にはいつも本機をきれいな水で洗浄してください。

冷却用吸気口

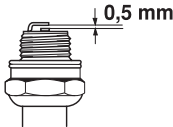
- 必要に応じて冷却用吸気口を清掃してください。



注記! 吸気口が汚れたり詰まっていると、本機が過熱状態になり、ピストンやシリンダーに損傷を与えることになります。

スパークプラグ

- エンジンのパワーが出ない、なかなか始動しない、アイドリングが安定しないなどの場合は、まずスパークプラグを点検してください。
- 感電の危険を回避するために、スパークプラグキャップやイグニッションリードが損傷していないことを確認してください。
- スパークプラグが汚れていたら、きれいにしてから電極ギャップが 0.5 mm あるかどうかを確認します。必要なら交換します。



注記! 必ず指定のタイプのスパークプラグを使用してください! 不適切なスパークプラグを使用すると、ピストンやシリンダーが破損する原因となります。

上記の要因によりスパークプラグ電極にカーボンが付着し、運転中の不具合や始動困難などの原因となります。

- 誤った燃料調合 (オイル過多または不適切な種類のオイルの使用)
- エアフィルターの汚れ

機能検査

一般点検

- ナットおよびネジが確実に締められているかどうかを確認します。

駆動ベルト

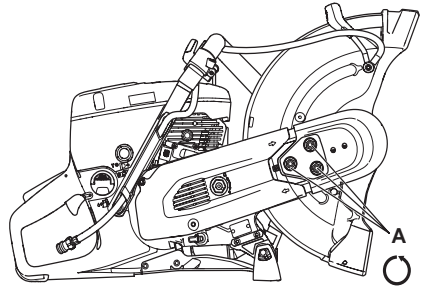
駆動ベルトの張り調整

新しい駆動ベルトは、燃料を1または2タンク分使用した後で、張りの調整をしてください。

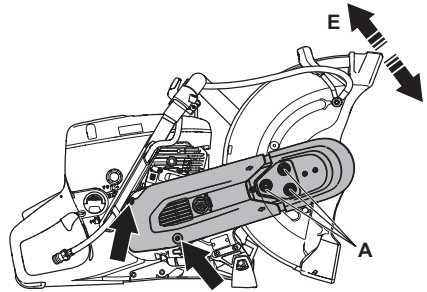
摩擦抑制装置が備わっている製品の場合、手でブレードの向きを変えると、引っかくような音が聞こえることがあります。これは全く正常です。ご質問があれば、ハスクバーナの正規取扱店にお問い合わせください。

駆動ベルトは密封され、ほこりや汚れから効果的に保護されています。

- 3つのボルト (A) を反時計方向に1回回して緩めます。



- ブレードガード (E) を3〜5回上下にゆすってから、ナット (A) をコンビンレンチで締め込みます。

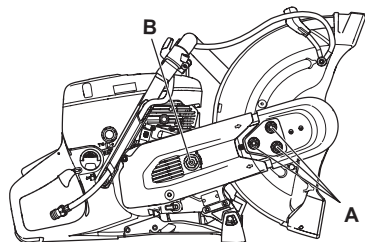


駆動ベルトの交換



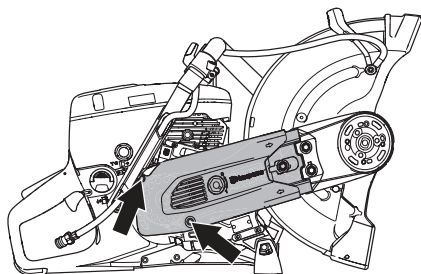
警告! ベルトプリーとクラッチがメンテナンスのために外されているときは、決してエンジンを始動させないでください。カッティングアームまたはカッティングヘッドが取り付けられていない状態で、本機を始動させないでください。クラッチが外れてけがをすることがあります。

- 上側ベルトガードを支えている3つのナット (A) を緩めます。ベルトテンション (B) を「0」位置まで回し、張りを緩めます。

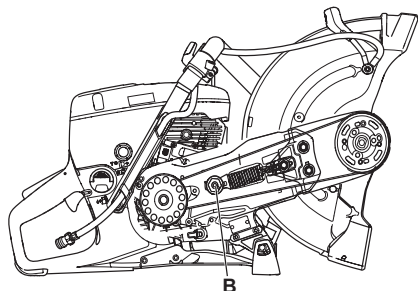


メンテナンス

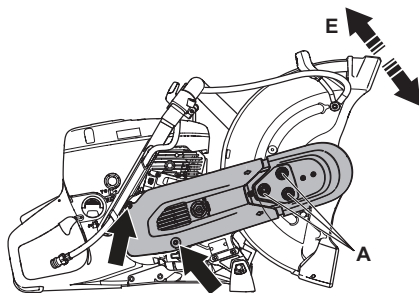
- 上側ベルトガードを外します。
- 後ろ側のベルトガードを取り外します。



- 駆動ベルトを交換します。ベルトテンション (B) を「1」位置まで回し、ドライブベルトを締め込みます。



- ベルトガードを取り付け、ナット (A) を指でしっかりと締めます。ブレードガード (E) を3～5回上下にゆすってから、ナット (A) をコンビレンチで締め込みます。



キャブレター

キャブレターには固定ニードルが取り付けられており、燃料と空気の適切な混合気が常に本機に供給されるようになっています。エンジンのパワーが足りない時、加速が悪いときは、以下を行います。

- エアフィルターを点検し、必要に応じて交換します。効果がなければ、弊社指定のサービスショップに問い合わせてください。

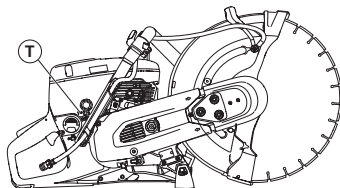
アイドリング速度の調整



注意!アイドリング設定が調節できず、ブレードが動かない場合は、販売店またはサービスショップにご連絡ください。調整または修理が完了するまで、本機の使用はお控えください。

エンジンを始動し、アイドリング設定をチェックします。キャブレターが正しく設定されていると、カッティングブレードはアイドリング時に静止状態になるはずですが。

- アイドリング速度の調整は T ネジで行います。調整が必要なときは、ブレードが回転を開始するまで、ネジを時計回りに回します。次に、ブレードが回転を停止するまで、ネジを反時計回りに回します。



推奨アイドリング速度: 2700 rpm

スターターハウジング

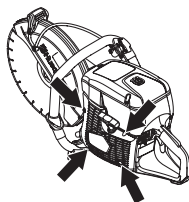


警告!リコイルスプリングは張力を持った状態でスターターハウジングに組み込まれているため、不注意に取り扱ったりスプリングが飛び出して怪我をすることがあります。

リコイルスプリングやスターターロープを交換するときは、常に注意を払って行ってください。必ず防護ゴーグルを着用してください。

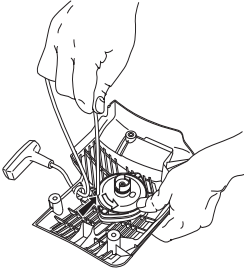
破損したり消耗したスターターロープの交換

- スターターをクランクケースに固定しているネジを緩め、スターターを外します。

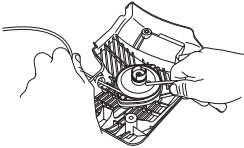


メンテナンス

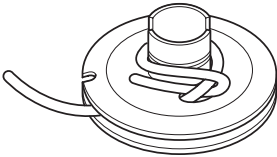
- コードを約30cm引き、スタータープーリーの表面のカットアウトまで持ち上げます。コードに損傷がない場合: プーリーをゆっくりと逆に回転させ、スプリングのテンションを緩めます。



- 古いスターターロープの残りの部分を取り除き、リターンスプリングが動作することを確認します。新しいスターターロープをスターターハウジングとローブプーリーの穴を通して挿入します。

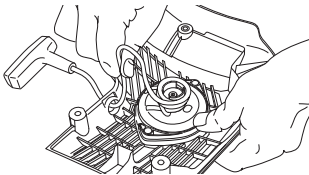


- スターターロープを、図のとおり、ローブプーリーの周りに固定します。締め具をよく締めて、自由端が可能な限り短くなるようにします。スターターロープの終わり部分をスターターハンドルに固定します。



リコイルスプリングのテンション調整

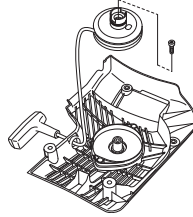
- コードをプーリーの表面のカットアウトを通して導き、スタータープーリーの中心の周りにコードを3回時計回りに巻きつけます。



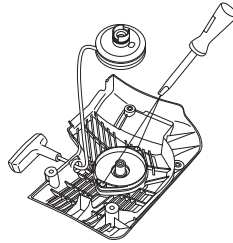
- 次にスターターハンドルを引き、それによってスプリングにテンションを与えます。もう一度、同じ手順を繰り返しますが、今度は4回巻きます。
- スプリングにテンションを掛けた後、スターターハンドルが正しくホームポジションにあることを確認します。
- スターターラインを完全に引き、スプリングが最終位置にないことを確認します。親指でスタータープーリーを緩め、プーリーが少なくとも反回転することを確認します。

破損したリコイルスプリングの交換

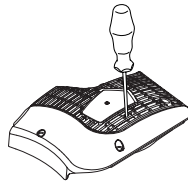
- プーリーの中心のボルトを外し、プーリーを取り外します。



- スターターハウジング内のリターンスプリングにはテンションが掛かっていますので、ご注意ください。
- スプリングカセットを固定しているボルトを緩めます。



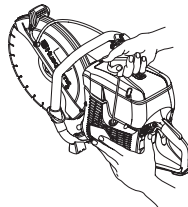
- ドライバーを使用して、スターターを回し、フックを緩めることで、リコイルスプリングを外します。フックは、スターター上のリターンスプリングアセンブリを保持しています。



- リコイルスプリングに経路を塗布します。プーリーを取り付け、リコイルスプリングにテンションを掛けます。

スターターの取り付け

- スターターを取り付けるには、まずスターターロープを引き出し、スターターをクランクケースにあてがいます。次にプーリーに爪がかかるよう、スターターロープをゆっくりと戻します。



- ねじを締めます。

メンテナンス

燃料システム

全般

- 燃料キャップとシール部に損傷がないことを確認します。
- 燃料ホースを点検します。損傷があるときは交換します。

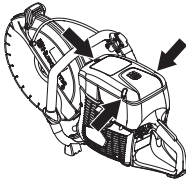
燃料フィルター

- 燃料フィルターは、燃料タンクの内部にあります。
- 燃料タンクは、給油時に不純物が入ることがないように、保護する必要があります。これによって、タンク内の燃料フィルターが閉塞することによる、動作上の障害リスクを減少させることができます。
- フィルターが目詰まりした場合は、清掃することはできません。新しいものと交換してください。**燃料フィルターは、少なくとも年に一度交換してください。**

エアフィルター

エンジンの力が落ちている場合、エアフィルターのみを点検する必要があります。

- ねじを緩めます。エアフィルターカバーを取り外します。



- エアフィルターを点検し、必要に応じて交換します。

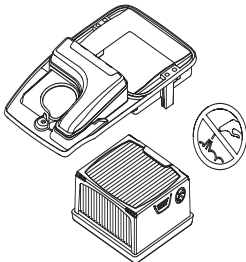
エアフィルターを清掃します。



注意! フィルター交換時に有害な塵が飛散する場合があります。認可された呼吸器保護具を着用してください。フィルタを適切に処分してください。

注記! エアフィルターは、圧縮空気で掃除しないでください。フィルターを傷つけることがあります。

- ねじを緩めます。カバーを外します。



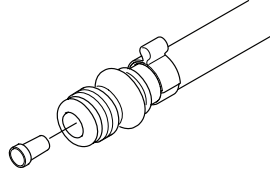
- エアフィルターを交換します。

ドライブギア、クラッチ

- クラッチセンター、ドライブギア、およびクラッチスプリングに摩耗がないか点検します。

給水システム

ブレードガードのノズルと給水接続のフィルターに詰まりがないかどうかをチェックし、必要ならきれいにします。

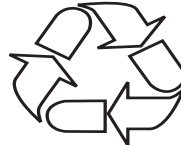


廃棄

本製品は、地域で定められた要件に従って適切なリサイクル業者に引き渡す必要があります。

以上を遵守することで、本製品は正しく処理され、本製品を不適切に廃棄した場合に環境や人に与えられる悪影響を防止することができます。

本製品のリサイクルについての詳細は、あなたの所在する地区の地方自治体、廃棄物処理サービス、本製品を購入した代理店に連絡してください。



トラブルシューティング

トラブルシューティング



警告! サービスやトラブルシューティングを行う際に電源を入れる必要がない場合には、エンジンを切って、停止スイッチを STOP の位置に入れてください。

問題	考えられる原因	考えられる解決策
本機が始動しない	始動の手順が間違っている	詳細は、「始動と停止」を参照してください。
	停止スイッチが停止 (STOP) の位置にある	停止スイッチ (STOP) が、左の位置にあることを確認します。
	燃料タンクに燃料がない	燃料を補給します。
	スパークプラグの不良	スパークプラグを交換します。
	クラッチの不良	サービス代理店に連絡してください。
アイドリング状態でもブレードが回転する	アイドリング速度が速すぎる	アイドリング速度を調整します。
	クラッチの不良	サービス代理店に連絡してください。
スロットルを押してもブレードが回転しない	ベルトが緩すぎる／ベルトの不良	ベルトを張ります／新しいベルトに交換します。
	クラッチの不良	サービス代理店に連絡してください。
	ブレードが正しく取り付けられていない	ブレードが正しく取付けられているか確認します。
スロットルを押してもパワーが出ない	エアフィルターが詰まっている	エアフィルターを点検し、必要に応じて交換します。
	燃料フィルターが詰まっている	燃料フィルターを交換します。
	燃料タンクのタンク通気孔が詰まっている	サービス代理店に連絡してください。
振動が大きすぎる	ブレードが正しく取り付けられていない	カッティングブレードが正しく取り付けられており、損傷がないことを確認します。詳細は、「カッティングブレード」および「取り付けと調整」を参照してください。
	ブレードの不良	損傷のないブレードに交換します。
	防振装置の不良	サービス代理店に連絡してください。
本機の温度が異常に高くなる	空気取り込み口または冷却フランジがふさがっている	本機の空気取り込み口／冷却フランジを掃除します。
	ベルト滑り	ベルトを点検します／テンションを調整します。
	クラッチ滑り／不良	常時フルスロットルで切削します。 クラッチを点検します／サービス代理店に問い合わせます。

主要諸元

主要諸元

	K 770, K 770 OilGuard, K 770 Rescue
排気量、cm³/立方インチ	74/4.5
シリンダー内径、mm/インチ	51/2
ストローク、mm/インチ	36/1.4
アイドリング回転数、rpm	2700
フルスロットルー負荷なし、rpm	9300 (+/- 150)
出力、kW/hp @ rpm	3.7/5 @ 9000
スパークプラグ	NGK BPMR7A
電極ギャップ、mm/インチ	0.5/0.02
燃料タンク容量、リットル／米国液量オンス	0.9/30
推奨水圧、バール/PSI	0.5-10/7-150

重量	12 インチ (300 mm)	14 インチ (350 mm)
燃料とカッティングブレードを除くパワーカッター本体、kg/ポンド*	10/22	10.1/22.3
*Rescue キャリーストラップ、追加 0.4 kg/0.9 ポンド		
スピンドル、出力シャフト		
最高スピンドル速度、rpm	4700	4700
最大周速、m/s、フィート/分	80/16000	90/18000

騒音排出 (注記 1 を参照)		
実測音響レベル dB (A)	113	113
音響パワーレベル、L _{WA} dB (A)	115	115
騒音レベル (注記 2 を参照)		
使用者聴覚での等価騒音レベル、dB (A)	101	101
等価振動レベル、a_{hveg} (注記 3 を参照)		
フロントハンドル、m/s²	<2.5	<2.5
リヤハンドル、m/s²	<2.5	<2.5

注記 1: 環境における騒音の排出は、EC 指令 2000/14/EC に従って、音響パワー (L_{WA}) として測定。保証音響と計測音響の違いは、保証音響に計測結果のばらつきと、同一モデルの異なる機器の差異が含まれているためです。これは指令 2000/14/EC に則っています。

注記 2: 等価騒音レベルは EN ISO 19432 に則し、さまざまな作動状態における騒音レベルの時間加重エネルギーとして計算しています。報告データによれば、製品の等価騒音レベルの一般的な統計上のばらつき (標準偏差) は、1 dB (A) となります。

注記 3: 等価振動レベルは EN ISO 19432 に則し、さまざまな作動状態における振動レベルの時間加重エネルギーとして計算しています。報告データによれば、等価振動レベルの一般的な統計上のばらつき (標準偏差) は 1m/s² です。

推奨する研磨およびダイヤモンドカッティングブレードの仕様

カッティングブレード	最大切断深度、mm/インチ	ブレードの定格速度、rpm	ブレードの定格速度、m/s / ft/min	ブレードのセンター穴の直径、mm/インチ	ブレード最大厚さ、mm/インチ
12 インチ (300 mm)	100/4	5100	80/16000	25.4/1 または 20/0.79	5/0.2
14 インチ (350 mm)	125/5	5500	100/19600	25.4/1 または 20/0.79	5/0.2

EC 適合性宣言

(ヨーロッパにのみ適用)

ハスクバーナ (SE-561 82 HUSKVARNA, スウェーデン、電話: +46-36-146500) は、2018 年のシリアル番号以降 (年は銘板にシリアル番号の前に明記) の持ち運び可能な切断機 **Husqvarna K 770, K 770 OilGuard, K 770 Rescue** が、以下の評議会指令の規格に適合することを単独責任のもとで宣言します。

- 2006 年 5 月 17 日付「機械類に関する」**2006/42/EC**
- 2000 年 5 月 8 日付「環境への騒音排出に関する」**2000/14/EC** 別紙 V に従った適合性評価。

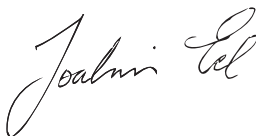
騒音排出に関する詳細は「主要諸元」の章を参照してください。

次の標準規格にも適合しています: **EN ISO 12100:2010, EN ISO 19432:2012**

RISE SMP Svensk Maskinprovning 社 (Box 7035, SE-750 07 Uppsala, Sweden) はハスクバーナ社の代理として、機械指令 (2006/42/EC) に従って自主試験を実施しました。証明書の番号: SEC/10/2285

試験機関: 0404, RISE SMP Svensk Maskinprovning 社 (Box 7035, SE-750 07 Uppsala, スウェーデン) が、2000 年 5 月 8 日付の「環境への騒音排出に関する」評議会指令 2000/14/EC の付録 V に適合することも認定しました。証明書の番号: 01/169/031

Partille, 2018 年 1 月 29 日



Joakim Ed

Global R & D Director

Construction Equipment Husqvarna AB

(ハスクバーナ AB 正式代表兼技術文書担当)

主要諸元

JP - 取扱説明書原本



2018-03-02